

第3学年D組 音楽科学習指導案

- 1 題材名 スメタナが音楽に託した思いを感じ取ろう
教材名 鑑賞 「ブルタバ」(連作交響詩「我が祖国」から) スメタナ作曲

2 題材について

《学習指導要領とのかかわり》

- B 鑑賞 (1) ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)(イ)について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。
(イ) 生活や社会における音楽の意味や役割
イ 次の(イ)について理解すること
(イ) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり
- [共通事項] (1) ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。
音色、速度、旋律、強弱
イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。
拍子、調

(1) 題材観

インターネットやSNSが普及し、生徒たちは身近にある音楽を、検索すれば簡単に聴くことができる。気軽に、そして自由に音楽を聴くことができる環境ではあるが、流行の音楽や好きな音楽を聴くことに偏ってしまったり、多様な音楽を受け入れにくくなったりしているように感じる。音楽の授業では、多様な音楽に触れ、楽曲のもつよさや美しさを味わわせたいと考えている。

本題材は、学習指導要領の第2学年及び第3学年B鑑賞(1)ア『鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、(イ)「生活や社会における音楽の意味や役割」について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと。』、イ『(イ)「音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり」について理解すること。』に関する学習内容である。音楽が人々の暮らしや思いなどと密接に結びついているということ、音楽の特徴と関わらせながら探り、深く楽曲を味わうことをねらいとしている。楽曲の生まれた背景や歴史、社会情勢を知ることが、楽曲への理解を深め、根拠をもって批評する手立てのひとつになる。そして、[共通事項]を根拠に音楽を批評するということは、自ら楽曲の魅力を探り、自分なりの価値を見出して、楽曲を理解し味わって聴くことにつながっていく。

「ブルタバ」は曲が進むにつれ徐々に川幅が広がり雄大な景色が広がる情景と同時に、スメタナの祖国に対する思いが高まっていくことの両方が音楽で表現されている。音楽を形づくっている要素である音色・旋律・速度・強弱を生徒の思考・判断のよりどころとし、本楽曲に託したスメタナの思いを音楽から読み解き、そのよさや美しさを味わうのにふさわしい教材であると考えている。また、自分が感じ取った音楽の特徴を、音楽を形づくっている要素と結び付けて味わい、自分の思いを言葉で他者に伝え、互いの気付きを共有し、感じ取ったことに共感し合う場面も設定していく。共に音楽を聴いて価値を考えていくことは、生徒が楽曲への興味関心をより一層高め、自分にはない感覚や表現方法に気付き、豊かな感性を育むことにつながると考える。

(2) 指導観

3年間の学習を通し、音楽的な見方・考え方（音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きとの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連付けること）を働かせられるような指導計画を立案することを目指している。第1学年ではヴィヴァルディ作曲の「春」で情景（ソネット）と音楽との関わり、「魔王」で登場人物の心情と音楽との関わりについて学び、理解しながら楽曲のよさを味わうことができた。第2学年では、「フーガ短調」の旋律が重なり合いながら展開していく音楽の面白さ、「交響曲第5番ハ短調」では曲の構成を理解して曲想を味わい、音楽の特徴やその背景を理解したうえで楽曲の魅力を感じ受することをねらった。また、我が国及び諸外国の様々な音楽は、それぞれの国や地域の過去から現在に至るまでの人々の暮らし、文化や歴史などの影響を受け、社会の変化や文化の発展とともに生まれ、育まれてきたことを理解し、箏曲、日本の民謡、歌舞伎音楽（勧進帳）、雅楽、世界の諸民族の音楽を鑑賞してきた。今回の「ブルタバ」は3年間の集大成となるよう、学習したことを生かしながら、楽曲の奥深さを感じ価値を考える学習を充実させたい。

本題材では背景となる文化や歴史との関わりが、音楽の特徴にどのように表れているかを捉えることで、楽曲のよさを深く味わうことにつなげていく。そのために、音楽を形づくっている要素である音色・旋律・速度・強弱を生徒の思考・判断のよりどころとし、曲が進むにつれ徐々にブルタバ川が上流から下流に向かって雄大な景色が広がる情景と同時に、スメタナの祖国に対する思いが高まっていくことの両方を音楽から探っていく。

第1時では、標題ごとに、想像した情景や場面と音楽の特徴を関わらせながら聴き、チェコの美しい風景やブルタバ川の近くに住む人々の暮らしを描いた楽曲であることを理解する。

第2時（本時）では、**A**〔ブルタバ川を表す旋律〕、**F**「幅広く流れるブルタバ」、**G**「ビシェフラトの動機」に焦点を当てる。〔ブルタバ川を表す旋律〕は、チェコの民謡をもとに作られている。チェコ民謡「コチュカ レゼ ディロウ」は明るく陽気な雰囲気であるのに対し、〔ブルタバ川を表す旋律〕は短調でもの悲しい雰囲気であることは、歴史的背景が関係していることに気付き、スメタナの思いを考える。**F**「幅広く流れるブルタバ」にスメタナの思いの高まりが感じられること。そして最後に、かつて城が築かれ、現在は国家的功労者の墓地にもなっている（スメタナもこの墓地に眠っている）ビシェフラトの丘を描いた**G**「ビシェフラトの動機」が、本楽曲にとってどのような意味をもち、スメタナがどのような思いを託したのかをグループで話し合い、深く音楽から読み取らせたい。

第3時には、第1曲「ビシェフラト」の冒頭部分を聴き、**G**「ビシェフラトの動機」と同じ旋律が用いられていることに気付かせたい。最後に、チェコ民謡を用い、ブルタバ川の情景を音楽で細かく描写した本楽曲は、チェコの人々にとってどのような存在であったのかを考えながら、「ブルタバ」の映像を鑑賞する。本題材を通して、楽曲の背景となる歴史や文化と音楽の特徴を関わらせて聴き、人々の生活や社会の中で音楽がどのような意味をもっていたのかを考えることで、楽曲への理解を深め、自分なりの価値を見出しながら音楽を味わって聴くことの面白さを味わわせたい。

3 題材の目標

- 「ブルタバ」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりを理解する。（知識及び技能）
- 音色、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割を考え、よさや美しさを味わって聴く。（思考力・判断力・表現力等）
- 「ブルタバ」の歴史的背景や作曲者の思いと音楽の特徴を関わらせて聴く学習に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むとともに、音楽文化に親しむ。

（学びに向かう力、人間性等）

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「ブルタバ」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりを理解している。	音色、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割を考え、よさや美しさを味わって聴いている。	「ブルタバ」の歴史的背景や作曲者の思いと音楽の特徴を関わらせて聴く学習に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

5 研究の視点

【視点2】音楽的な見方・考え方を働かせるための効果的な指導の手立て

①比較聴取の場面の設定

生徒が楽曲を鑑賞する際に、そこから何に気付き、感じ取ることができればよいのか「聴き取る目的」を明確にさせたい。

□A [ブルタバを表す旋律] が短調でもの悲しい雰囲気なのは、チェコの歴史的背景が関係していることに気付かせるために、チェコ民謡「コチュカ レゼ ディロウ」（ブルタバを表す旋律のもとになった民謡）を鑑賞する。□A [ブルタバを表す旋律] と□Fを比較し、□Fで音楽的な高まりが感じられるにも関わらず、音楽が完結せずに□Gが最後に入るのほどのような意味をもつのか、□Fで曲が完結する合唱曲「モルダウ」を聴いたり、□Fと□Gを比較したりする。着目させたい要素に相違点のある音楽を聴かせ、生徒「疑問点を解決したい」という動機を与えることで、音楽を形づくっている要素の働きを知覚し、それらが生み出す雰囲気や曲想の違いを感じ取ることができるようになると考える。

②ICTの活用

タブレットPCに、「ブルタバ」□A [ブルタバを表す旋律]、□D [ブルタバを表す旋律]、□F、□Gの場面を用意し、生徒が聴きたい部分を好きなタイミングで再生できるようにする。聴きたい部分を選び、繰り返し聴くことで、音楽を形づくっている要素を知覚やその働きの感受を深めることができ、生徒が主体的に活動するための手立てとなると考える。

③協働的な学習

自分が感じ取った音楽の特徴を、音楽を形づくっている要素と結び付けて味わい、自分の思いを言葉で他者に伝え、互いの気付きを共有し、感じ取ったことに共感し合う場面も設定していく。グループ活動の際には、タブレットPCで音楽を再生して聴き取ったり、□F、□Gの楽譜を比較したりしながら、楽曲の背景となる歴史や文化と音楽の特徴を関わらせて聴き、曲に対するイメージや思いを伝えあったり共感したりして、音楽活動に主体的・協働的に取り組みながら、音楽のよさや美しさを感じ味わわせたい。

【視点3】評価の在り方

本時では、音色、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えるとともに、「ブルタバ」の歴史的背景や作曲者の思いと音楽の特徴を関わらせて、楽曲のよさや美しさを味わって聴くことをねらいとしている。比較聴取の場面を設定し、タブレットPCや楽譜をもとに自分が感じ取った音楽の特徴を、音楽を形づくっている要素と結び付けて味わい、自分の思いを言葉で他者に伝え、互いの気付きを共有し、感じ取ったことに共感し合う活動を通して、思考・判断・表現している生徒の姿を見取りたい。

○協働的な活動の場面（グループ活動）の様子から見取る

気付いたことや感じたことを、グループの意見として1枚のプリントにまとめる。全グループをバランスよく巡回し、指導助言をしていく。その際、自分の意見をグループに伝えることができているか、タブレットPCや楽譜の活用が効果的に行われているか観察し、記録していく。生徒の話し合い、伝え合い活動では、気付いたこと（知覚）と感じたこと（感受）のどちらかに偏る傾向がある。「なぜ（音楽のどのようなどころから）そう感じたか」「音楽が〇〇だから、どのように感じるか」を適宜生徒に投げかけながら、深く音楽から読み取らせたい。

○ワークシートから見取る

自分で気付いたことや感じたこと、グループ活動によって曲に対するイメージや思いを伝えあったり共感したりして新たに気付いたことなどをワークシートに記入していく。知覚したことと感受したことを関わらせてワークシートに記入することができるかを見取りたい。グループ活動の際に、自分の意見を持つことができない生徒が、グループの意見に流されてしまいがちである。グループ活動のワークシート（グループの意見を集約するプリント）以外に、『スメタナが「ブルタバ」に託した思いはどのようなものであったか』自分の考えを記入させ、その内容を見取りたい。

6 題材の指導計画及び評価計画（3時間扱い）（本時2／3時間）

	◎ねらい ○学習内容 ・学習活動 ☆〔音楽を形づくっている要素（音符、休符、記号や用語）〕	○教師の働きかけ ・目指す生徒の姿	評価規準 (評価方法)		
			知	思	態
	◎楽曲の歴史的背景や自然、文化、人々の暮らしが音楽で表されていることを理解するとともに、 標題のイメージと音楽を形づくっている要素との関わりについて理解する。		↓ 知 (観察・発言・記述)	↓ (記述・発言)	↓
第1時	<p>○本題材のねらいを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交響詩や作曲家、標題について確認し、本題材の学習の見通しをもつ。 ・楽曲の歴史的背景や、祖国の自然や文化、人々の暮らしが音楽で描かれていることを知る。 <p>○C、D、Eの場面について、どの標題の音楽であるか、音色（楽器の音色）、速度（場面ごとの速度の変化）、旋律（ブルタバを表す旋律、長調、短調）、強弱（強弱の変化、強弱の対比）を根拠に理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を根拠にC、D、Eがどの標題の音楽であるかを考える。 ・標題ごとに区切りながら鑑賞し、音楽の特徴、情景や場面について全体で共有する。 <p>☆〔音色、速度、旋律、強弱、（拍子）〕</p> <p>○「ブルタバ」を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A〔ブルタバを表す旋律〕がD後半やFに出てきており本楽曲の主題であることに気付く。 <p>☆〔旋律〕</p>	<p>○単に文化や歴史を知るだけにならないよう留意し、音楽に対する生徒の興味・関心を引き出しながら理解できるよう工夫する。</p> <p>○感じ取ったことについて、音楽のどこからそう感じたのかを問い返し、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えることができるよう支援する。</p> <p>○生徒たちの意見を実際に音源で確かめる場を設定することで、意見交換の内容と音楽とを結び付けて鑑賞することができるようにする。</p> <p>○必要に応じて旋律を口ずさんだり、特徴的なリズムを手で叩いたりすることで音楽の特徴を感じ取れるようにする。</p>			
	◎音色、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、「ブルタバ」の歴史的背景や作曲家の思いと音楽の特徴を関わらせて、楽曲のよさや美しさを味わって聴く。				
	<p>○前時の学習内容を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時はA、F、Gに着目することを確認する。 <p>○A〔ブルタバを表す旋律〕とチェコ民謡を比較しながらスメタナの思いについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民謡とA〔ブルタバを表す旋律〕を比較する。 ・前時に確認した歴史的背景と関わらせ、主題旋律に込められたスメタナの思いを考える。 <p>☆〔旋律、（調）〕</p>	<p>○前時の学習内容が思い出せるような固定板書を工夫する。</p> <p>○チェコ民謡「コチュカ レゼ ディロウ」を聴かせ、教師がピアノを弾くなどして、明るく陽気な雰囲気を感じ取らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るく陽気なチェコ民謡をもとに作曲されていることに気付く。 	↓	↓	↓

<p>第2時 (本時)</p>	<p>○F「幅広く流れるブルタバ」を聴き、スメタナの思いについて考える。</p> <p>・Aと同じモチーフで作られたFを聴き、スメタナの思いが高まるのが音楽で表現されていることを確認する。</p> <p>☆〔速度、旋律、強弱、(調)〕</p> <p>○G「ビシェフラトの動機」を鑑賞し、Fと比較聴取して、スメタナが曲に込めた思いについて考える。</p> <p>・FとGを聴いたり楽譜を見たりしながら、音楽の特徴をもとに感じ取ったスメタナのメッセージについてグループで話し合う。</p> <p>・話し合った内容について音楽を聴いたり楽譜を見たりしながら全体で共有する。</p> <p>○スメタナが曲に込めた思いについてワークシートに記入する。</p>	<p>・同じモチーフのA〔ブルタバを表す旋律〕とF「幅広く流れるブルタバ」の違いは何か、音楽を形づくっている要素をもとに考える。</p> <p>○合唱曲「モルダウ」を聴かせる。</p> <p>○Fで音楽が完結せず、Gを最後に入れたことに着目させる。</p> <p>○生徒たちの意見を実際に音源で確かめる場を設定することで(タブレットPCを使用する)、意見交換の内容と音楽とを結び付けて鑑賞することができるようにする。</p> <p>・音楽の特徴をもとに、グループで意見を交換し、考えを共有する。</p> <p>・スメタナが曲に込めた思いを、音楽の特徴をもとに考える。</p>	<p>↓ (記述・発言)</p>	
<p>◎「ブルタバ」の歴史的背景や作曲者の思いと音楽の特徴を関わらせて聴く学習に関心をもち、生活や社会における音楽の意味や役割を考え、よさや美しさを味わって聴く。</p>				
<p>第3時</p>	<p>○第1曲「ビシェフラト」(冒頭)を聴き、気付いたことや感じ取ったことを全体で共有する。</p> <p>☆〔音色、旋律〕</p> <p>○これまでの学習を振り返る。</p> <p>・「ブルタバ」を映像で鑑賞し、鑑賞文を書く。</p> <p>○本題材を振り返り、生活や社会における音楽の意味や役割について考える。</p>	<p>・G「ビシェフラトの動機」と同じ旋律が使われていることに気付く。</p> <p>・それぞれの音楽の特徴から、描かれたお城や情景を想像する。</p> <p>○「プラハの春音楽祭」のオープニングで「我が祖国」が演奏されていることを伝え、映像を鑑賞させる。</p> <p>・チェコ民謡を用い、ブルタバ川の情景を音楽で細かく描写した本楽曲が、チェコの人々にとってどのような存在であったのかを考えながら鑑賞する。</p> <p>・生活や社会における音楽の意味や役割について考え、自分なりの考えをワークシートにまとめ、発表する。</p>	<p>↓ (記述・発言)</p>	<p>↓ (記述・発言・観察)</p>

7 本時の学習（2／3）

（1）本時の目標

音色、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えるとともに、「ブルタバ」の歴史的背景や作曲者の思いと音楽の特徴を関わらせて、楽曲のよさや美しさを味わって聴く。

（2）展開

時配	学習内容 ・主な学習活動 ☆ [音楽を形づくっている要素、 (音符、休符、記号や用語)]	○教師の働きかけ・目指す生徒の姿 ◇評価規準<評価方法>
5分	1 前時の学習内容を振り返る。 ・本時は[A]、[F]、[G]に着目することを確認する。 2 本時の目標を知る。	○前時の学習内容が思い出せるよう、固定板書（正面黒板）を工夫する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> スメタナが音楽に託した思いを、音楽の特徴から探ろう。 </div>		
10分	3 [A] [ブルタバを表す旋律] とチェコ民謡を比較しながらスメタナの思いについて考える。 ・民謡と[A] [ブルタバを表す旋律] を比較する。 ・前時に確認した歴史的背景と関わらせ、主題旋律に込められたスメタナの思いを考える。 ☆ [旋律、(調)]	○チェコ民謡「コチュカ レゼ ディロウ」を聴かせ、教師が口ずさんだり、ピアノを弾いたりして、明るく陽気な雰囲気を感じ取らせる。 ・明るく陽気なチェコ民謡をもとに作曲されていることに気付く。
10分	4 [F] 「幅広く流れるブルタバ」を聴き、スメタナの思いについて考える。 ・[A]と同じモチーフで作られた[F]を聴き、スメタナの思いが高まるのが音楽で表現されていることを確認する。 ☆ [速度、旋律、強弱、(調)]	・同じモチーフの[A] [ブルタバを表す旋律] と「幅広く流れるブルタバ」の違いは何か、音楽を形づくっている要素をもとに考えさせる。
20分	5 [G] 「ビシェフラトの動機」を鑑賞し、[F]と比較聴取して、スメタナが曲に込めた思いについて、グループで考える。 ・[F]と[G]を聴いたり楽譜を見たりしながら、音楽の特徴をもとに感じ取ったスメタナのメッセージについて話し合う。	○合唱曲「モルダウ」は[F]の旋律で完結していることも確認しながら、[F]で音楽が完結せず、[G]を最後に入れたことに着目させる。 ○タブレット PC を活用して生徒たちの意見を実際に音源で確かめる場を設定することで、意見交換の内容と音楽とを結び付けられるようにする。

5 分	<p>・話し合った内容について音楽を聴いたり楽譜を見たりしながら全体で共有する。</p> <p>6 スメタナが曲に込めた思いについてワークシートに記入し、発表する。</p>	<p>・音楽の特徴をもとに、グループで意見を交換し、考えを共有する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◇音色、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割を考え、よさや美しさを味わって聴いている。 (思考・判断・表現) <ワークシートの記述、発言></p> </div> <p>・スメタナが曲に込めた思いを、音楽の特徴をもとに考える。</p>
--------	--	---

1 A 「ブルタバ川を表す旋律」を聴いて感じたことを書こう



スメタナの思いは・・・？

2 F 「幅広く流れるブルタバ」、G 「ビシェフラトの動機」を聴き、スメタナが音楽に託した思いを、音楽の特徴から考えてみよう

<input type="checkbox"/> F 「幅広く流れるブルタバ」	<input type="checkbox"/> G 「ビシェフラトの動機」
音楽の特徴	音楽の特徴
スメタナの思い	スメタナの思い



3 スメタナが「ブルタバ」に託した思いはどんなものだったのだろうか